



食を通じた地域のプロモーション・交流事業を実施して ～大津市の今後の展望～

(一財)自治体国際化協会交流支援部経済交流課 主査 宮田 啓 (福島県白河市派遣)

クレア経済交流課では、海外に料理教室を展開する株式会社 ABC Cooking Studio(ABC 社)と連携し、中国、韓国および東南アジアの ABC 社生徒などを「食」をテーマとした日本国内ツアーに招へいし、自治体の海外販路開拓やインバウンド促進につなげる事業(食を通じた地域のプロモーション・交流事業)を実施しています。このたび、2022 年度第 1 回目のツアーを実施した大津市観光振興課 MICE 推進室の島田様にお話を伺いました。



島田浩平(しまだ こうへい)様

※海外の旅行会社との商談でも使用したユニークメニュー「旧竹林院」にて

・略歴 高校卒業後、アメリカ合衆国ワシントン州にあるセントマーティンズ大学へ留学。卒業後は日本で英語・国際教育関係の仕事を経た後、2019年4月に大津市役所入庁。

Q:「食を通じた地域のプロモーション・交流事業」へ応募したきっかけを教えてください

インバウンド自体は前から取り組んでいたものの、台湾やフランスなど英語圏以外の国をターゲットとしていました。そのような中、本事業を活用することで、英語圏の国を新たにインバウンドのターゲットとする良い機会になると考え応募しました。

また、旅費をはじめとした金銭面での支援や、ABC社などと官民連携の取り組みができるなど、市が単独で行うにあたり課題となる部分をサポートいただけたのも大きかったです。

Q:実際にツアーに同行した現場で感じたことや、ツアー後のフィードバックから得たものを教えてください

料理や観光地の「見せ方」を知っているインフルエンサーとツアーを行ったことで、大津を切り取ったプロ

デュース(発信)の方法や、いかに魅力的な場所に見せるかといったポイントを知ることができました。また、店舗の方も気づいていなかった新しい切り口から意見をいただくことができ、訪問先にとっても良い刺激になったと感じています。

さらに、滋賀県としての魅力を伝えるために、公益社団法人びわこビジターズビューロー(BVB)とも連携できたことや、ツアー内容をまとめた記録動画をいただけたことなど、今後につながる大きな成果を得ることができたと思っています。



ツアー当日の参加者で記念撮影(大津市・BVB・クレア・ABC社・インフルエンサー)

Q:今回のツアーの成果や、大津市の現状を踏まえて、今後の展望をお聞かせください

これまで、大津市では食を前面に押し出したインバウンドを取り上げてきませんでしたが、今回の事業を通して外国人から見ても良いコンテンツや素材・資源があるという確信を得ることができました。

今後は、まずは市としてどの部分に資源を投入すべきなのかを今一度精査したいと思います。その上で、今回のツアー結果や、新型コロナウイルス感染症の情勢を踏まえ、大津をどのように見せていくのかを打ち出していきたいと考えています。

大津市を含めたこれまでのツアーは、クレア経済交流課のホームページに掲載しております。是非ご覧ください。